

最も重要な基盤技術である接着のメカニズム解析から不良解決まで解説

接着制御・メカニズム解析の考え方と分析評価法

日時	HP、案内メールをご覧ください	会場：WEB 配信方式
受講料	49,500 円（税込み、テキスト付）	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	得られる知識、スキル	
様々な分野において接着技術に関わる若手から中堅、管理者まで、R&D を中心に、技術系人材	<ul style="list-style-type: none"> ・接着メカニズムとその解析 ・接着不良解決の考え方と方法 ・接着解析に必要な分析、評価 	
概要	<p>あらゆる工業分野で、接着技術は様々な用途、場面で用いられており、現代において必要不可欠なものの一つとなっています。材料特性や製品性能を左右するのが接着技術であり、接着技術を支配することはあらゆる分野の基盤であると言えます。接着や剥離現象を制御するためには、その表面や界面の状態や構造・特性を把握することが必要不可欠であり、そのためには分析、評価を適切に行わなければなりません。</p> <p>本講演では、接着・剥離のメカニズムとその制御の解説と共に、それらに必要な分析、解析の方法を中心に、事例も交えながら詳細に解説を行います。</p>	
【接着に支配される現代社会】 【接着とは】 接着と粘着 接着を生む力 【接着を支配するもの】 接着・剥離を支配するもの 接着を支配するには 接着関与因子と評価法 接着剤の種類、硬化様式 【接着・剥離解析の考え方】 接着解析の分類 接着分析のパターン 接着過程の解析 剥離箇所の特定 剥離原因の分類 【問題解決アプローチ】 剥離の観察 剥離状態の解析 代表的要因別アプローチ アプローチの例（位置、サイズ） 複合要因の分離 加速試験 【樹脂／金属の接着】 金属／樹脂の接着パターン 相互作用・反応の様式例 金属基材の前処理 接着不良要因	【不良解析】 剥離解析ファーストステップ ファーストステップの観点 界面剥離の場合 層内剥離の場合 接着不良の場合 不良対策 【メカニズム解明】 【ケーススタディー】 【前処理による接着強度の変化】 【シランカップリング反応】 代表的な処理方法 処理条件 条件と構造の多様性の例 基材表面の解析 反応の一般論 加水分解と自己縮合 複雑性の一例 フィラー処理 【見るべきポイント】 【解析の難しさと障害】 【反応の解析とは言うけれど】 反応解析のポイント 反応率解析 【基材表面の解析法】 【今後の注目領域】	【代表的分析手法の使用例】 【XPS による組成官能基評価】 【AES による界面評価】 【EPMA による表面処理の評価】 【TOF-SIMS による構造評価】 【FTIR による硬化挙動の解析】 【SEM,TEM による観察】 【SPM による評価】 【μ-T A による評価】 【接着（剥離）強度評価】 【接着界面の分析】 接着における界面の重要性 界面の形成、分類 界面における課題 界面分析 イオンエッチング法 角度変化法 精密斜め切削法 新しいアプローチ 【解析の実例】 【In-situ 測定】 【PI / Cu / Si 接着界面の解析】 【接着前処理層の深さ方向分析】 【UV 表面処理の深さ方向解析】 【XPS による UV 照射 PI の解析】 【気相化学修飾法】 【まとめと質疑】
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>

e-mail : haru777@star.email.ne.jp